

## 令和6年度 風水害・地震等への対応について(修正版)

日頃より学校教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、夏季休業中、「南海トラフ地震臨時情報」が発令されました。今後再び発令されることも考えられるため、対応を明示いたします。次の表は本年4月に示した表を修正したものです。なお、表で「メッセージ配信」とは「すぐーる」による配信です。

状 況	対 応	メッセージ配信等
「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒・巨大地震注意)」が発令された場合。	直ちに臨時休校とはなりません。ただし、状況によって休校などの判断となります。	引き取り、休校などの判断になった場合はメッセージ配信や学校 HP でお知らせします。

	状 況	対 応	メッセージ配信等
生徒 登校 前	ア. 大地震発生 横浜市内の一か所でも 震度5強以上の地震を観測	地震発生の当日と翌日 <b>臨時休校</b> ※被害が少ない場合は学校判断で授業実施の場合あり。	震度5強以上は休校と判断してください メッセージ配信は原則しません。(授業実施の場合等メッセージ配信や学校 HP 掲載の場合があります)。
	イ. 朝 6時の段階で横浜市に 「特別警報」「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」「降灰予報」の発表	<b>臨時休校</b>	メッセージ配信は原則しません。
	ウ. 大雨警報・注意報 洪水警報・注意報・予報 強風注意報・大雪注意報	平常授業 通学路の安全を考慮して保護者が登校の可否を判断。安全確報のために遅刻・欠席の場合は必ず学校へ連絡	・安全を考慮した場合、遅刻・欠席扱いにはしません
	エ. 「Jアラート」(全国瞬時警報システム)で自然災害以外の警報が神奈川県に発令。	警報が出ている間、登校を控える。	解除後の登校についてはメッセージ配信や学校 HP でお知らせします。お知らせがあるまで登校を控えてください。
生徒 登校 後	オ. 大地震発生 横浜市内の一か所でも 震度5強以上の地震を観測	<b>保護者による引き取り</b>	メッセージ配信がなくとも引き取りのためご来校ください(迎えが来るまで留め置き)。
	カ. 地震発生 震度5強に達していないが学校教育活動を継続することが困難と判断。 キ. 「特別警報」「暴風警報」「大雪警報」「暴風雨警報」「降灰予報」の発表、その他天候の急激な悪化。 ク. 「Jアラート」(全国瞬時警報システム)で自然災害以外の警報が神奈川県に発令。	状況に応じ、たとえば次のような対応をとります。 ① 直ちに生徒を下校させ、教職員が巡回する。 ② 生徒を校内に待機(避難)させ、危険がなくなってから下校させる。 ③ 保護者による引き取りを実施。	メッセージ配信や学校HPへの掲載が可能な可限り、対応の方法や状況を発信します。  「大雨警報・注意報」や「洪水警報・注意報・予報」、「強風注意報・大雪注意報」ではメッセージ配信は原則しません。